

クライアント

プレゼンテーション層  
Webサーバ

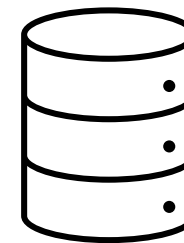
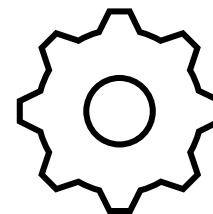
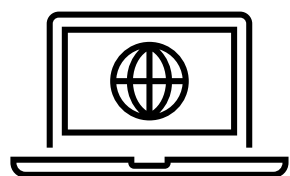
アプリケーション層  
APサーバ

データ層  
DBサーバ

HTTP通信

API

SQLクエリ

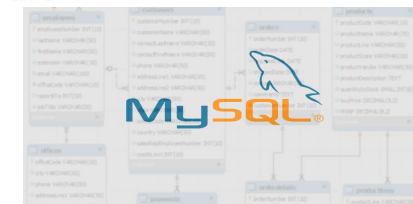
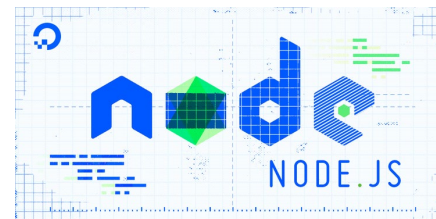


Webページ

HTML,  
CSS

Python

SQL



RPO = 1 時間

- 新入生が部活登録や情報更新を行った場合、そのデータが最大 1 時間前の状態まで復旧できれば問題なし。つまり、過去 1 時間以内に登録されたデータが失われるリスクを許容する。

---

RTO = 2 時間

- サーバーダウンや障害発生時には、サービスの完全復旧を 2 時間以内に行う必要がある。これにより、新入生や部活の管理者がすぐにシステムを再利用できるようにする。

---

DR

バックアップ頻度:

- デイリーバックアップ（フルバックアップ）を毎晩実行し、毎時差分バックアップを行う。

バックアップの保持期間:

- 最新のバックアップは 7 日間保持し、古いバックアップは削除。

バックアップの場所:

- クラウドストレージ（例: AWS S3 や Google Cloud Storage）にバックアップを保存。災害発生時に地理的に分散したデータセンターを利用。

---

パフォーマンス (Performance)

ページのロード時間:

- 新入生が部活情報を確認する際のページのロード時間は 3 秒以内。

フォーム送信のレスポンスタイム:

- 新入生の登録フォームが送信される際、データベースへの反映が 1 秒以内に完了。

同時アクセス数:

- 最大同時アクセス数: 500 人以上のユーザーが同時にアクセスしても、アプリケーションが適切に動作する。

---

RPO は 1 時間以内、RTO は 2 時間以内、DR はデイリーバックアップと毎時差分バックアップ、パフォーマンスはページのロード時間 3 秒以内、フォーム送信 1 秒以内、最大 500 人同時アクセス対応を目指すことで、新入生と部活管理者にとって使いやすく、信頼性の高いシステムを実現する。